



KIMURATAN

第41期
事業報告書

平成15年4月1日 平成16年3月31日

株式会社 キムラタン

キムラタンは、消費者の皆様とともに
カンフォートライフシーンの創造をめざします。



本社

●目次

ごあいさつ	3
業績の推移	4
ショップ、ブランド紹介	5
貸借対照表	7
損益計算書	8
損失処理	12
会社の概況 取締役および監査役	13

ごあいさつ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第41期(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)事業報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当期におけるわが国経済は、景気動向指標に若干の明るさも見られ、景況そのものには持ち直し基調に転じた感は見受けられるものの、不安定な雇用状況や所得の回復には至らず、個人消費や設備投資並びに公共投資につきましては、総じて低迷のままに引き続き厳しい状況で推移いたしました。

そのような中当社におきましては、当期最大の課題でありました債務超過問題も解消を果たし、これまでのアパレル事業の再建と新規IT事業の安定成長を指向する有機的な事業運営を目指して、当期を事業融合再生準備年と位置付けて、全社を挙げ取り組んで参りました。

特に徹底した効率経営に向けた諸策への取組と当該取組を次年度に繋げるために平成16年1月からの最終第4四半期には実質的な社内体制・組織機能・人事等全般的な刷新準備をも積極的に推進いたしました。

また新規IT事業につきましても国内外における企画・生産・販売等の全ての部門に亘る人材の確保と併せて生産拠点の開発等も当初計画どおりに進捗し、次年度からはいよいよ当期の先行投資に連動した売上実績が見込める段階を迎えました。

当期の売上高に関しましては、前述の取り組みに併せ過年度の売上低迷による持越し在庫や流動性に劣る不採算店舗の店頭在庫等の一掃処分に加え、不採算店舗の閉鎖等を積極的に敢行したことによりまして55億28百万円(対前期比14.6%増)となりました。

一方損益面につきましては、不採算部門の大幅な前倒し処理の実施に伴い粗利額の減少を招き、誠に遺憾ながら経常損失は20億45百万円、当期純損失は20億65百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われませんが、アパレル・IT両事業の適正な融合と会社再建に向けた積極的な事業運営に徹底し、早期黒字化体質への転換を実現して参る所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月



代表取締役社長 川床 博

業績の推移

● 売上高の状況

部門別・業態別売上高の推移は次のとおりであります。

▼部門別売上高

区分	第38期 (平成13年3月期)	第39期 (平成14年3月期)	第40期 (平成15年3月期)	第41期 (平成16年3月期)
ベビー衣服類	4,481 百万円	3,981 百万円	3,995 百万円	4,058 百万円
子供服 他	1,016	1,082	831	1,470
合計	5,497	5,063	4,826	5,528

▼業態別売上高

区分	第38期 (平成13年3月期)	第39期 (平成14年3月期)	第40期 (平成15年3月期)	第41期 (平成16年3月期)
百貨店	1,935 百万円	1,467 百万円	2,121 百万円	2,158 百万円
専門店	3,046	3,453	2,535	2,821
量販店 他	516	143	170	549
合計	5,497	5,063	4,826	5,528

● 営業成績および財産の状況の推移

区分	第38期 (平成13年3月期)	第39期 (平成14年3月期)	第40期 (平成15年3月期)	第41期 (平成16年3月期)
売上高	5,497 百万円	5,063 百万円	4,826 百万円	5,528 百万円
経常損失	3,616	2,415	2,302	2,045
当期純損失	4,183	2,999	2,370	2,065
1株当たり当期純損失	110円34銭	79円11銭	37円6銭	15円47銭
総資産	13,704 百万円	9,829 百万円	8,444 百万円	9,962 百万円
純資産(株主資本)	1,628	918	1,646	723

パパ・ママそしてお子さまのファミリーライフを考える

キムラタン ブランド・ラインナップ



愛情設計

ママとおなじ思いやり。

「人と地球にやさしい」をテーマに素材・縫製・加工にいたるまでやさしさを追求します。21世紀ファミリーに向けて、共感・共鳴を得られる新たなベビーマーケットをご提案します。



おとぎの国

いつの時代も変わらない優しさを提案し続けてきた「おとぎの国」は可愛いベビーにぴったりです。

marie claire
Enfants



セサミ5月号 別冊第2付録より

フランスのファッション誌「マリクレール」の「マプリ」を楽しめる洗練されたソフトラッドを展開しています。

fas

free amenity spirit

「自由」に「生活を楽しむ」「気持ち」。それが「ファス」のコンセプトです。



フィガロジャパン3月5月号 別冊付録より


Piccino

シンプル、心地よさ、ぬくもりをキーワードとしたヨーロッパテイストのデリーウェア

Piccino

HAPPY LIFE EVERYDAY

手作り感やナチュラル感を表現したデリーユースウェア。新しいソフトタッチなジーンズカジュアルを表現。

〈全国百貨店、専門店、量販店、直営店で展開中!!〉

キムラタン ショップ・ラインナップ



Total Planning for Aijo sekkei

赤ちゃんのデリケートな肌に、安心素材を提案する「愛情設計」。ナチュラルカラー&デザインのアイテムをそろえるショップは、清潔感あふれるやわらかなムード。素材のこと、ケアのこと、スタッフとゆっくりお話しく下さい。



Total Planning for fas

ママの感性を大切にし、親子でコーディネートが楽しめます。ひとつひとつのアイテムに大人のトレンドが加味され、色展開は、エイジレスで旬の色、柄を自由に取り入れています。大人の感性にもピッタリ合うショップです。



Total Planning for La maison des enfants

カジュアルに、ナチュラルに、素材や機能に…子どもたちのウェアで個性やTPOを楽しみたい。そんな感性にこたえるブランドミックスセレクトショップです。ゆったりと自分らしさを見つける事のできる空間です。



Total Planning for MIXAGE

子供服のイメージにとらわれない、シンプルシックなおしゃれを表現。開放的で洗練されたショップは、ママが目移りしそうなフレンチカジュアルの世界。ナチュラル素材&カラーの新鮮なチャイルドウェアに出会えるショップです。

貸借対照表

平成16年3月31日現在

(単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	4 718	流動負債	8 752
現金預金	372	買掛金	546
受取手形	21	短期借入金	7 315
売掛金	2 784	未払金	226
棚卸資産	736	未払法人税等	9
前渡金	187	未払事業所税	9
短期貸付金	420	未払費用	120
その他の流動資産	317	返品調整引当金	357
貸倒引当金	121	賞与引当金	36
固定資産	4 974	その他の流動負債	131
有形固定資産	3 263	固定負債	486
建物・構築物	1 153	退職給付引当金	132
工具器具備品等	232	繰延税金負債	0
土地	1 877	再評価に係る繰延税金負債	353
無形固定資産	12	負債合計	9 239
ソフトウェア	2	資本金	5 728
電話加入権等	10	資本剰余金	2 217
投資その他の資産	1 697	資本準備金	2 217
投資有価証券	1	利益剰余金	7 751
差入保証金	461	当期末処理損失	7 751
長期未収金	1 264	土地再評価差額金	530
その他の投資その他の資産	150	株式等評価差額金	0
貸倒引当金	180	自己株式	1
繰延資産	270	資本合計	723
新株発行費	270		
合 計	9 962	合 計	9 962

損益計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

(単位:百万円)

科 目	金	額
(経常損益の部)		
営業損益の部		
営業収益		5 528
売上高		
営業費用		
売上原価	3 831	
販売費及び一般管理費	3 640	7 471
営業損失		1 942
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息・配当金	0	
仕入割引	45	
その他の営業外収益	47	93
営業外費用		
支払利息	20	
売上割引	0	
新株発行費償却	151	
その他の営業外費用	23	196
経常損失		2 045
(特別損益の部)		
特別利益		
投資有価証券売却益	78	78
特別損失		
固定資産除却損	29	
店舗閉鎖損失	11	
貸倒引当金繰入額	44	
退職給付会計基準変更時差異処理額	9	93
税引前当期純損失		2 060
法人税、住民税及び事業税		5
当期純損失		2 065
前期繰越損失		5 685
当期未処理損失		7 751

(継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況)

当社は、当期末において純資産額は7億23百万円となり、これまで最大の課題であった債務超過を解消するに至りましたが、当期末において20億65百万円の当期純損失及び26億83百万円のマイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、当該状況により継続企業の前提に関する重要な疑義を抱かせる状況が生じております。

しかし当該状況に対しましては、新経営陣による抜本的な業務改革のもと、既存のアパレル事業については収益の構造転換、並びに新規IT事業においてはIT関連機器の本格的な市場参入の2本建の経営政策に基づき、前述の疑義は解消できるものと考えております。

具体的には、1 社内組織・機能の刷新(責任体制の明確化、利益管理制度の導入、組織体制のスリム化による人件費圧縮) 2 GMS(大型量販店)他への新規販路開発・取組強化 3 ブランドの削減による事業領域の明確化(7ブランドから5ブランドへ) 4 不採算店舗の撤退(約50店舗)に伴う経費の圧縮、並びに閉店セールによる売上拡大・利益の獲得、これら諸策を推進することにより既存事業において10億円の経費圧縮と収益の向上を図ります。

新規事業に関しましては、次期以降、超急速充電器をはじめセキュリティーカメラシステム等の製品を市場に投入し、ICチップやICモジュール等の最新技術部品においてもマーケット参入を推し進め、売上の拡大、収益の獲得を図ります。

財務面におきましては、遊休資産売却等を始めとする借入金の返済に一層前向きに取り組むとともに、キャッシュ・フロー経営の安定定着化と自己資本充実を伴う財務体質強化に資するべく資金調達をも同時に実施します。

上記の経営戦略を基軸とし、アパレル事業の速やかな業績回復と新規IT事業の拡大を図り、第4四半期には黒字基調に転換させる予定でございます。

計算書類及び附属明細書は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を計算書類及び附属明細書には反映しておりません。

(重要な会計方針)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法

評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は株式については移動平均法、株式以外のものは総平均法により算定しております。

時価のないもの……総平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製商品・仕掛品……個別法による原価法

材 料……最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法

無形固定資産……定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 繰延資産の処理方法

新株発行費……商法の規定する最長期間(3年)で均等償却しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金… 売掛金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 返品調整引当金… 販売済製商品の期末日以降の返品による損失に備えるため、期末月前2ヶ月間の売上高に実績率を乗じた金額を計上しております。

(3) 賞与引当金… 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

- (4) 退職給付引当金 ... 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、会計基準変更時差異については、5年による按分額を費用処理しております。

5. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(貸借対照表関係の注記事項)

1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額は2,958百万円であります。
3. 担保に供している資産

受取手形5百万円、建物1,087百万円、土地1,867百万円。

4. 資本の欠損

資本の欠損の額は7,753百万円であります。

5. 配当制限

商法施行規則第124条第3号に規定する資産に時価を付したことにより増加した純資産額は0百万円であります。

6. 再評価差額金

土地の再評価に関する法律に基づき、事業用の土地の再評価を行い、当該評価差額から再評価に係る繰延税金負債を控除した額を土地再評価差額金として、資本の部に計上しております。

・再評価の方法...土地の再評価に関する法律施行令(平成10年3月31日公布政令第119号)第2条第4号(地価税法)により算出。

・再評価を行った年月日...平成14年3月31日

・再評価を行った土地の当期末における時価と再評価後の帳簿価額との差額

... 496百万円

7. 自己株式

当社が保有する自己株式の数は、普通株式38,283株であります。

(損益計算書関係の注記事項)

1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たりの当期純損失は15円47銭であります。

損失処理

(単位:円)

科 目	金 額
I 当 期 未 処 理 損 失	7,751,350,918
II 損 失 処 理 額	
資 本 準 備 金 取 崩 額	2,217,597,000
III 次 期 繰 越 損 失	5,533,753,918

会社の概況

平成16年3月31日現在

創業	大正14年4月
本社	神戸市中央区港島中町6丁目3番地の3
支店	東京
資本金	5,728,847,741円
発行済株式の総数	203,058,273株
株主数	10,803名
従業員数	80名（ほかに契約社員等が437名おります。）
主要販売先	全国主要都市百貨店100店 全国主要都市専門店400店 全国主要直営店100店

取締役及び監査役

平成16年3月31日現在

地 位	氏 名	担当又は主な職業
取締役会長	木 村 丞 造	
取締役社長	川 岡 正 則	事業本部長
取締役副社長	東 田 康	管理本部長
常務取締役	木 村 健	事業本部室長、神戸事業部長
取 締 役	高 橋 好 信	東京支店長
取 締 役	木 村 文 秀	東京事業部長
監査役(常勤)	北 島 弘 志	
監査役(常勤)	望 月 正 治	
監 査 役	瀬 尾 和 宏	

- (注) 1. は代表取締役であります。
 2. 当期中の取締役の異動
 (1) 新任取締役(平成15年12月25日付)
 取 締 役 東田 康
 (2) 退任取締役(平成15年6月27日付)
 取 締 役 橋本恒三
 取 締 役 伊藤 純
 3. 当期中の監査役の異動
 (1) 新任監査役(平成15年6月27日付)
 監 査 役 北島弘志
 新任監査役(平成15年12月25日付)
 監 査 役 望月正治
 (2) 退任監査役(平成15年6月27日付)
 監 査 役 柳原弘一
 退任監査役(平成15年12月25日付)
 監 査 役 東田 康
 4. 監査役のうち瀬尾和宏氏は、商法特例法第18条第1項に定める社外監査役であります。

●株主メモ

1.決算期	3月31日
2.定時株主総会開催日	毎年6月中
3.同総会議決権行使株主確定日	3月31日
4.利益配当金支払株主確定日	3月31日
5.中間配当金支払株主確定日	9月30日
6.公告掲載紙	日本経済新聞
7.名義書換	
名義書換代理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	日本証券代行株式会社大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋2丁目6番10号(新高麗橋ビル2階) 電話 06 6202-3521
同取次所	日本証券代行株式会社本・支店
8.諸届	改姓・改印・住所変更などの場合、お早めにお届けください。
9.上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第1部
10.1単元の株式数	1,000株



KIMURATAN